

ニュージーランド キウイフルーツの出荷量が急減

EUROFRUIT 2023年5月10日

ゼスプリは2023年産キウイフルーツに高い品質を期待しているが、出荷量は昨年より大幅に減少する

ゼスプリは、2023年産の生育期間を通しての悪天候のため、今シーズンのニュージーランド産キウイフルーツの収穫量は予想を下回ることを確認した。

販売事業者である同社は、現在の予定では、グリーン、サンゴールド、ルビーレッドのキウイフルーツ約1億3,600万箱を50か国以上に輸出するとしている。これは、2022年の1億7,100万箱より少なく、4月のテプケ地域での雹害に関する被害調査が完了したので、今シーズンの収穫量はさらに減少する可能性がある。

ダン・マシソンCEOは、ニュージーランドの生育期間は極めて困難であり、生産者は複数の悪天候の影響を受けたと述べた。同氏は、「世界中の第一次産業の多くの生産者と同様に、多くの天候関連の問題など、キウイフルーツ生産者はこの生育期間に特に困難に直面した。その結果、今シーズンの取引先へのキウイフルーツの供給は限られる。特にグリーンキウイフルーツは、過去20年間で最低の水準が予想され、出荷量は2022年の約6,100万箱から約4,200万箱に減少する」と語った。(以下「」は同CEOの発言)

「課題はあるが、世界中のゼスプリチームは、今シーズン可能な限り良い結果を得るために、世界中の取引先と共に懸命に取り組んでいる。」

同CEOは、生産量の減少は残念であるが、業界が今シーズンの果実の品質の向上に注力し、2024年の出荷量の増加に備えるチャンスになると述べた。

「今シーズン、収穫物の品質を確実に向上させるなど、可能な限りのことを行って品質を高めるため、キウイフルーツ業界とサプライチェーン全体で多大な努力が払われてきた。それは、業界の品質行動計画の一部として確立された取組みによってサポートされている。」

同CEOは、出荷初期の果実はかなり優れた品質を示しており、このフィードバックは主要市場で一貫していると述べた。「我々はすでにアジア市場でそれを見てきたが、現地の消費者からの強い需要を満たすため先週末に最初の荷が販売されたヨーロッパでも同様だ。」

今シーズンの果実は半分以上が収穫されており、2024年に予想されるはるかに多くの果実を管理するため来シーズンの計画をすでに策定中である。

「供給の観点からは、生産者らが今シーズンの天候関連の収穫量の減少から回復し、サンゴールドキウイフルーツの承認園地の成園化が進むため、2024年には出荷量が大幅に増加すると予想している。」

「この増加は今後何年も続く予想されており、ニュージーランドだけでも2027/28年度には約2億3千万箱に達すると予測されている。北半球からの供給も、2027/28年度までに今年の2,500万箱の2倍以上になると予測されている。」

「こうした出荷量の増加が成熟段階に入ることにより、取引先とともに持続可能な成長をし、生産者にとっては持続可能な収益を得られる時代に戻るための絶好のチャンスとなる。」

「我々の業界は、ブランドに多額の投資を行い、新しい市場を開拓するほか、悪天候を克服し、今後取引先と消費者に常に高品質のキウイフルーツをもっと大量に提供し、生産者と産地により多くの利益を還元できるよう、サプライチェーンのさらなる強靱化に懸命に取り組んでいる。」

執筆者: マウラ・マクスウェル